

愛染寺鐘樓門及び仁王堂



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	あいぜんじしょうろうもんおよびにおうどう
所在地	津山市西寺町
指定年月日	平成18年3月17日
解説	棟札の写しから正保元年(1644)の建立と判明する。愛染寺は明治9年(1876)に焼失したが、この建物はその難を逃れた。鐘樓門は梁間2間(2.9m)、桁行1間(3.8m)の間一戸楼門で、上層は梁間2間、桁行3間。南面する入母屋造、檜皮葺で、両袖には方1間の仁王堂が付属する珍しい形態をとる。仁王堂は、単層唐破風造、檜皮葺で、仁王像の製作年代は胎内墨書から万治元年(1658)と知られる。平成13～15年(2001～2003)に全面解体修理が施されている。
アクセス方法	JR津山駅から徒歩約15分
公開状況	外観のみ
設備	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> 駐車場  トイレ  </div>
備考	